



平成19年4月4日

各位

会社名 東邦チタニウム株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野上 一治  
コード番号 5727 (東証第一部)  
問合せ先 総務部長 松原 浩  
(電話番号 0467-87-2830)

### 新工場の建設によるスポンジチタンの生産能力の増強について

当社は、昨年(平成18年)11月8日、新工場の建設によるスポンジチタンの生産能力増強構想(従来構想を変更)を発表し、その後、設備計画、投資額等に関する具体的な検討を進めてまいりましたが、本日開催の取締役会におきまして、下記のとおり工場建設の実行を正式に決定しましたので、お知らせいたします。

記

#### スポンジチタン新工場の概要

生産能力	12,000 t/年 ※1 茅ヶ崎の現工場では、還元炉・分離炉の増設及び生産効率の向上により、平成19年度中に現状の15,000 t/年の能力を16,000 t/年に増強する計画であり(注1)、これを合わせた生産能力は28,000 t/年となる。 ※2 新工場においては、将来の拡張計画として、更に+12,000 t/年の増強を想定する。
建設計画	平成19年11月 着工 平成21年 8月 完工 平成21年12月 営業運転開始
設備計画 (コンセプト)	・ クロール法を基本に、大型化、効率化、省力化を図り、作業環境も含め「環境に優しい」設備とする。 ・ 製品は、一般工業・民生品向けの純チタンインゴット用スポンジを主体とし、茅ヶ崎工場との作り分けを図る。 ・ 製造したスポンジは、主として、現在北九州市八幡東区に建設中の新EB工場(平成18年2月22日対外発表)へインゴット原料として出荷する。
生産計画	当初は6,000 t/年の生産とし、平成22年中を目途に9,000 t/年、平成23年中を目途に12,000 t/年のフル操業の体制とする。
従業員数	約200名(フル操業時)
投資額	396億円 投資資金は、自己資金を基本とし、不足する部分は銀行等からの長期借入れで対応する。
立地	北九州市若松区(新日本製鐵(株)八幡製鐵所保有地)(注2)

(注1) 当社のスポンジチタン生産能力は、一般品生産基準で表示しており、高純度スポンジ等の生産を加味した実生産量はこれを下回る。

(注2) 立地については、新日本製鐵(株)と賃貸借契約を締結すべく協議中。

以上